



『百日咳』全国で感染者増加 感染予防を

最近「百日咳」という感染症をよくニュースで耳にします。全国的に百日咳の感染者が増えています。この百日咳は、私たちが小さいときに予防接種を打っている感染症ですが、とても感染力が強く、赤ちゃんが感染すると危険だと言われている感染症です。



百日咳とは

百日咳菌が主な原因で
長く続く咳が特徴です。



- ・長く続く咳
- ・夜間に多い
- ・ヒューという音を立てて息を吸う



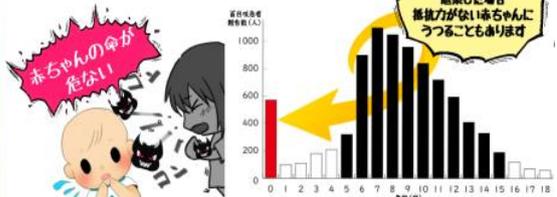
リスク

1歳になるまでの赤ちゃん、特にワクチンを接種していない
3か月未満の赤ちゃんが感染すると重くなり
命の危険があります。



感染力

百日咳菌の感染力は非常に強力です。



百日咳含有ワクチンの4回接種が完了していても、基礎免疫が低下してしまいます。
そのため、5～15歳の百日咳の患者さんが多いのです。

よく寝る ひんぱんに手を洗う
よく食べる 運動をする
目口鼻を触らない かぜ気味なら休む

私たちは今まで新型コロナウイルス感染症やインフルエンザで、たくさん感染予防を行ってきました。感染症のウイルスや菌が違っても、私たちにできる感染予防行動は同じです。

どの時期でもウイルスや菌は私たちの身近にあります。

自分や周りの人を大切にする生活習慣を大切にしましょう。



感染予防のために、できること。

All we have to do to prevent infection is simple.



言葉は宝



- 一つの言葉でケンカして
- 一つの言葉で仲なおり
- 一つの言葉に感謝して
- 一つの言葉に泣かされる
- 一つの言葉は力をあらわし
- 一つの言葉は心をあらわす

- 自分を苦しめない言葉
- 他人を傷つけない言葉

新しい学年がはじまって1か月が経ちました。長い休みを挟んでまたはじまった学校生活、疲れが溜まってきているころだと思います。毎日の学校生活、本当にお疲れ様！

でも、最近、疲れが溜まっているからでしょうか、保健室や廊下で乱れた言葉を耳にすることが増えました。こちらまで疲れているからでしょうか、その言葉を聞くと、いつも以上に悲しい気持ちになるのです。

わたし自身、言葉をきれいに使ってきたかと聞かれれば、そうではなかったと思います。特に中学生のころは、乱れた言葉やえらそうな言葉を、かっこいいと思い込んで使っていました。大人になってからも、親しくなった人には、思ったことを思ったように口にしていました。だけど数年前、家族に以下のように言われてから、自分の発する言葉を意識するようになりました。

「親しいからって言葉を選ばずに、なんでもかんでも言っていていいわけじゃない。」

私たち人間は、ほかの動物と違って『言葉』という手段でコミュニケーションをとることができます。自分の思いを伝え、また言葉を通して相手のことを理解することができます。それはまさに人間に与えられた『宝』です。この『宝』をどう使うかは私たち次第です。自分や周りの人を大切にする言葉を、お互い使っていきたいですね。

5月保健行事



- 5月 21日(水) 尿検査一次①
- 22日(木) 尿検査一次②
- 23日(金) 内科健診(2年生)
- 30日(金) 内科健診(1年生)

理由があって今回尿検査の提出ができない場合は、6月17日に提出をお願いします。

※内科健診では体操服が必要です

保護者のみなさまへ

たくさんの保健書類のご記入、誠にありがとうございます。本年度より、保健調査の一部を試験的にすぐーるにて、配信・回収を行っております。8日に歯科・耳鼻咽喉科の保健調査をすぐーるにて配信させていただきました。お忙しい中ですが、ご確認・ご回答をどうぞよろしくお願いいたします。